

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して、基準日を定めることがあります。
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.mitsumi.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、そのほかのやむを得ない 事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
証券コード	6767

会社概要 (2016年9月30日現在)

商 号	ミツミ電機株式会社
設 立	1954年1月
本 社	東京都多摩市鶴牧2丁目11番地2
営 業 所	東京、大阪、愛知、京都、兵庫、広島、福岡、 台湾
事 業 所	神奈川、北海道、秋田、山形、福岡
資 本 金	398億9,025万794円
従 業 員 数	単体 2,536名 連結 38,755名
事 業 内 容	電子部品・デバイスの製造および販売

ミツミ電機株式会社

本社：〒206-8567 東京都多摩市鶴牧2丁目11番地2
TEL:042-310-5333(大代表) FAX:042-310-5168
URL <http://www.mitsumi.co.jp/>

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式の総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,498,119株
株主数	22,237名

大株主

株主名	持株数(百株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	101,656	11.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	86,545	9.89
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	33,099	3.78
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	27,228	3.11
森部昌子	24,771	2.83
CREDIT SUISSE SECURITIES (EUROPE) LIMITED MAIN ACCOUNT	17,790	2.03
BNY FOR GCM CLIENT ACCOUNTS (M) APNB	9,423	1.07
THE BANK OF NEW YORK 133972	8,239	0.94
森部一夫	7,871	0.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	7,852	0.89

(注)当社は、自己株式を62,891百株保有しておりますが、上記大株主の欄には記載して
おりません。

第72期 (2017年3月期) 中間報告書

2016年4月1日
2016年9月30日

挑戦、ミツミフロンティア

MITSUMI
<http://www.mitsumi.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



株主の皆様へ

2017年3月期第2四半期における当社グループの事業のご報告にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。株主の皆様におかれましては平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



当第2四半期連結累計期間における世界経済の情勢を概観しますと、米国における個人消費や企業業績の改善、欧州における製造業での持ち直しの動きなどから、世界経済は緩やかに回復しました。しかし、英国のEU離脱問題や新興国のさらなる景気下振れリスクなどにより、先行き不透明感が高まっています。日本経済におきましては急激な円高が進んだものの、景気は緩やかな回復基調が続いています。

当電子部品業界におきましては、主力のスマートフォン関連市場が金額ベースに加えて台数ベースでも前年同期比でおおむね横ばいとどまりました。しかし、車載・ヘルスケア・生活家電などの部品市場は急激な成長が継続していることから、電子部品市場全体としては引き続き堅調な拡大が見込まれます。

このような経営環境の下、当社グループにおきましてはスマートフォン関連製品および車載関連製品などの受注が増加したものの、アミューズメント関連製品の受注が減少し、さらに為替の大幅な円高進行の影響から、グループ全体の売上高は772億6千5百万円（前年同期比92.3%）と減収になりました。

製品集計区分別の売上高では、高周波部品は、車載関連製品およびIPセットトップボックスなどの受注が

増加したことにより、160億6千5百万円（前年同期比112.0%）と増収となりました。さらに光デバイスも、カメラモジュールにつきましてスマートフォン向け製品の受注が増加したことにより、29億9千3百万円（前年同期比140.3%）となりました。一方、機構部品は、アミューズメント関連製品などの受注が減少したことにより、356億7千2百万円（前年同期比86.4%）と減収になりました。半導体デバイスも、リチウムイオン二次電池用の半導体製品およびモジュール製品の受注が減少したことにより、140億4千5百万円（前年同期比89.7%）となりました。電源部品も、主力であるアダプタ製品および組込型電源製品の受注がいずれも減少したことにより、84億8千7百万円（前年同期比82.9%）となりました。

また、損益につきましても大幅な円高が影響し、営業損失は49億9千1百万円（前年同期は5億5千万円の営業損失）、経常損失は83億5千5百万円（前年同期は6億9千3百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は79億4千8百万円（前年同期は12億4千6百万円の純損失）となりました。

当社は株主様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様への利益拡大と企業価値の最大化を図るため、2017年1月にミネベア株式会社との株式交換による経営統合を予定しております。当社はこの実現に向けて、遅滞なく準備を進めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

代表取締役社長 **森部 茂**

要約連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	121,949	123,150
固定資産	42,811	39,573
有形固定資産	40,498	37,158
無形固定資産	961	1,052
投資その他の資産	1,352	1,363
資産合計	164,761	162,724
負債の部		
流動負債	58,095	42,809
固定負債	24,538	25,635
負債合計	82,634	68,445
純資産の部		
株主資本	98,765	106,714
資本金	39,890	39,890
資本剰余金	43,252	43,252
利益剰余金	20,716	28,665
自己株式	△5,093	△5,093
その他の包括利益累計額	△16,638	△12,435
その他有価証券評価差額金	16	11
為替換算調整勘定	△12,477	△7,653
退職給付に係る調整累計額	△4,177	△4,794
純資産合計	82,126	94,279
負債純資産合計	164,761	162,724

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上高	77,265	83,683
売上原価	75,253	78,014
売上総利益	2,011	5,669
販売費及び一般管理費	7,002	6,220
営業損失(△)	△4,991	△550
営業外収益	293	382
営業外費用	3,657	524
経常損失(△)	△8,355	△693
特別利益	—	—
特別損失	0	109
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,355	△803
法人税等	△407	442
四半期純損失(△)	△7,948	△1,246
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,948	△1,246

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期累計 2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,954	△3,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,617	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,499	10,787
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,109	△278
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,182	6,329
現金及び現金同等物の期首残高	37,678	33,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,495	40,019

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。